

Top message

ト ッ プ メ ッ セ ー ジ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第31期（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）の営業の概況についてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の積極的な経済政策等を背景に円高是正や株価上昇が進み、新興国経済の継続的な成長や米国を中心とした先進国の緩やかな回復傾向なども背景として比較的順調に推移しましたが、消費増税による消費への反動懸念など依然として先行きは不透明な状況にあります。

当社の属するカーアフターマーケットにおきましては、消費者の低価格志向が強い中、新車販売の増加に牽引され消費に力強さも見え始めましたが、ユーザーの価値観の多様化に適合し、さらなる付加価値の向上を図った製品やサービスの提供が不可欠となっております。

このような情勢のもと当社グループでは、国内では平成25年1月に販売を開始した「STREET FLEX」のラインアップ拡充、「EDFC ACTIVE」のデモキットや販売促進用モニターの店頭設置、ユーザーや代理店向けの各種キャンペーンなどを継続的におこないました。さらに平成26年1月には、「EDFC ACTIVE」に4輪独立減衰力調整や旋回G感応調整などの新機能を追加した「EDFC ACTIVE PRO」と、量産ショックアブソーバーでは世界初となるトリプルチューブ構造を持つ「MONO SPORT」の販売を開始し、アフターマーケット用品のイベントに出展するなど、付加価値の提案と需要の掘り起こしに力を注いでまいりました。

また、海外市場においては、子会社、現地販売会社および代理店との緊密な連携、ならびに現地での諸施策等が奏功し、欧州など一部の地域を除いて概ね好調に推移しましたが、安価な競合品の流通もあり、引き続き苦戦を強いられております。

製品開発では、「EDFC ACTIVE PRO」と「MONO SPORT」の開発完了、世界ラリー選手権をはじめとした国内外の有力チームとの開発テスト、昨年リリースした「STREET FLEX」のラインアップ拡充に力を注ぎました。

他方、横浜市戸塚区の新工場は本年1月に移転を完了し、世界基準での販売価格の実現と、さらなる需要の拡大に備える海外初となる中国生産拠点「天御減振器製造（江蘇）有限公司」は、現在順調に建設が進行しております。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は3,249百万円、利益の面においては経常利益244百万円、当期純利益193百万円となりました。

株主の皆様の変わらぬご支援にあらためて感謝を申し上げますとともに、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

市 野 谿



TEINI

For Your Driving Pleasure



テインの信頼と実績の象徴、
「ダンバッチ」です。

株主・投資家の皆様へ

第31期 株 式 会 社 テ イ ン 決 算 の ご 報 告

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで



JASDAQ

証券コード：7217

◎ 財務情報

■ 連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	前連結会計年度 平成25年3月31日現在	当連結会計年度 平成26年3月31日現在
資産の部		
流動資産	1,654	2,735
固定資産	1,629	2,303
有形固定資産	1,401	2,066
無形固定資産	11	5
投資その他の資産	217	231
資産合計	3,284	5,038
負債の部		
流動負債	427	514
固定負債	370	1,852
負債合計	797	2,366
純資産の部		
株主資本	2,569	2,732
資本金	217	217
資本剰余金	215	215
利益剰余金	2,609	2,772
自己株式	△473	△473
その他の包括利益累計額	△82	△60
為替換算調整勘定	△82	△60
純資産合計	2,486	2,671
負債純資産合計	3,284	5,038

■ 連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前連結会計年度 平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで	当連結会計年度 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで
売上高	2,769	3,249
売上原価	1,726	1,951
売上総利益	1,042	1,297
販売費及び一般管理費	1,046	1,123
営業利益	△3	174
営業外収益	49	72
営業外費用	0	1
経常利益	45	244
特別利益	2	1
特別損失	1	66
税金等調整前当期純利益	46	179
法人税等	12	△14
少数株主損益調整前当期純利益	33	193
当期純利益	33	193

POINT

※流動資産および固定資産について

流動資産では、後述する固定負債の増加に伴い現金及び預金が増加しております。また有形固定資産では新社屋の完成に伴い建物及び構築物が増加しております。

※固定負債について

固定負債では、国外における新たな生産拠点の設立に伴う長期借入金が増加しております。なお、株主資本・借入それぞれのメ

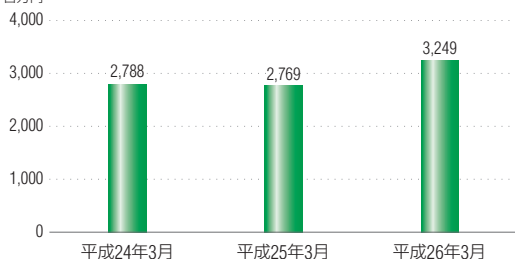
リットとデメリットを総合的に熟考の上、より最適な方法を選定しております。

※営業利益、経常利益および当期純利益について

増収による売上総利益の増加に加え、諸経費の削減や本社工場の移転に伴う一部費用の次期への繰り越し、また為替動向の影響、さらには税効果会計による法人税等調整額の計上もあって、前期と比較して大幅な増益となりました。

■ 売上高（連結）

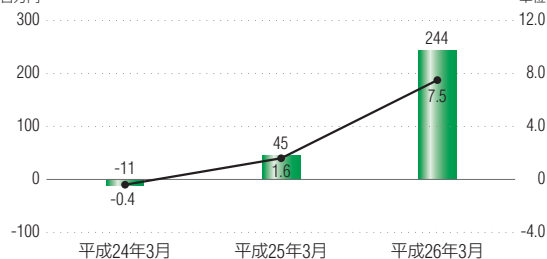
単位：百万円



■ 経常利益（連結）／売上高経常利益率（連結）

単位：百万円

単位：%



◎ 今後の見通し

当社グループを取り巻く経営環境につきましては、内外の経済情勢などを背景とした急激な為替の変動、特に国内では原油価格の高騰や電気料金の値上げに伴う原価の上昇や消費増税による消費への反動懸念等、依然として先行きは不透明な状況にあります。

当社グループの属するカーアフターマーケットにおきましては、そのような状況の中で消費に力強さも見え始め、今後は回復傾向に向かうことが予想されますが、その一方で多機能、高品質、リーズナブルな価格など価値観の多様化といったユーザーのニーズに適合し、さらなる付加価値の向上を図った製品やサービスの提供が不可欠になっていくことが考えられます。

当社グループといたしましては、このような経営環境のもと、Top messageにも記載いたしました新製品の「MONO SPORT」を始めとしたショックアブソーバー製品群の充実を図るとともに、国内外を対象とした広範囲な営業活動をさらに強化していくことは元より、世界各国の様々なユーザーニーズに対応する製品の企画開発に注力し、需要喚起に向けた新たな付加価値の提案と技術開発体制の拡充、海外での新工場の稼働によるフレキシブルな生産体制の一層の進化と全社的なコストダウン、また品質向上などを推し進めることで、新たな成長を目指すとともに収益改善を図ってまいります。

以上により、第32期の連結業績といたしましては、売上高3,486百万円、経常利益216百万円、当期純利益151百万円を見込んでおります。

平成26年6月

◎ 株式情報

■ 株式情報 (平成26年3月31日現在)

発行済株式の総数 6,652,250株

株主数 1,045名

大株主 (上位10位)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
市野 諒	1,507,300	29.0
株式会社イチノホールディングス	1,300,000	25.0
藤本 吉郎	558,500	10.8
日本生命保険相互会社	180,700	3.5
市野 ルリ子	146,300	2.8
大西 康弘	132,100	2.5
小島 宣保	129,000	2.5
市野 澄恵	121,500	2.3
株式会社西京銀行	121,100	2.3
ティン従業員持株会	65,140	1.3

(注) 持株比率は、自己株式(1,458,450株)を控除して計算しております。

◎ 新製品紹介



写真はNISSAN GT-R (R35) 用

「MONO SPORT」

コンセプトはすべての人に「走るよろこび」を！ユーザーニーズを車種毎に分析し、スポーツとツーリングの2つのセッティングを施すとともに、量産ショックアブソーバーとして世界で初めてトリプルチューブ構造を用いた「ストロングチューブ正立式」を採用(ストラットタイプ)。世界ラリー選手権、ヨーロッパラリー選手権を始めとした世界のトップレベルのラリーシーンで培われた先進の技術を惜しみなく投入した完全新設計の最強プレミアムモデル。



「EDFC ACTIVE PRO」

「加減速G感応」および「車速感応」による2つの減衰力自動調整機能を持つEDFC ACTIVEに、さらなる機能を追加したハイスベックバージョン。4輪独立減衰力調整、旋回G感応調整、車速信号の入力機能、ドライバーの意思が伝わる2系統の外部信号入力機能といった新機能の数々は、組み合わせるショックアブソーバーキットの性能を最大限に引き出すだけでなく、装着車両のポテンシャルも確実に引き上げる。(※特許出願中)

■ 会社概要 (平成26年3月31日現在)

商号	株式会社テイン (TEIN,INC.)
設立	昭和60年2月28日
所在地	本社工場 横浜市戸塚区上矢部町3515-4 TEL 045-810-5511 (代表) FAX 050-3156-3123 ・製品のお問合せ TEL 045-810-5501 ・IR (投資家向け広報) TEL 045-810-5511 (代表)
資本金	2億1,755万円
従業員数	130名 (社外への出向者、契約社員および臨時従業員は含まず。)
事業内容	自動車用サスペンションを始めとする自動車用品の製品開発、設計製造、販売および輸入自動車用品の販売。
代表取締役社長	市野 諒
取引銀行	株式会社三井住友銀行、株式会社横浜銀行
事業所	仙台営業所 仙台市宮城野区菖野町3-13-3 横浜営業所 横浜市戸塚区上矢部町3515-4 大阪営業所 兵庫県伊丹市荒牧南4丁目6-33
関連会社	TEIN U.S.A.,INC. TEIN UK LIMITED 天御香港有限公司 天御遠東国際貿易 (北京) 有限公司 天御減振器制造 (江蘇) 有限公司

■ 役員 (平成26年3月31日現在)

代表取締役社長	市野 諒
専務取締役	藤本 吉郎
取締役	那須 賢司
取締役	武井 共夫 弁護士
常勤監査役	三宅 良明
監査役	奥川 貞夫
監査役	原 真志 公認会計士

- (注) 1. 取締役武井共夫氏は、社外取締役であります。
2. 監査役三宅良明氏、監査役奥川貞夫氏および監査役原真志氏は、社外監査役であります。

メールサービスについてのご案内

投資家の皆様の利便性向上を図るため、「情報開示サービス」をおこなっております。
ご利用方法は、下記当社ホームページでご確認ください。
https://www.tein.co.jp/investors/irtekiji_tourouku.html

■ 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	6月に開催します。
基準日	
定時株主総会の議決権	3月31日
期末配当金	3月31日
中間配当金	9月30日 (中間配当金の支払いをおこなう場合)
株主名簿管理人	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店
(郵便物送付先) (お問合せ先)	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 (ご照会) ☎0120-707-843
各種手続のお申出先	未払い配当金のお支払い ・株主名簿管理人にお申出ください。 住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等 ・証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。 ・証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行へお申出ください。

特別口座でのお手続用紙のご請求はインターネットでもお受けいたします。
ホームページアドレス <http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>
(一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。)

単元株式数	100株
株式取扱手数料	単元未満株式買取手数料 株式の売買の委託に係る手数料相当額として別途定める金額
公告の方法	電子公告 下記ホームページに掲載いたします。 http://www.tein.co.jp/ir.html ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

